

事業所名 川西さくら園（児童発達支援）

支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

30 日

法人（事業所）理念	(事業所理念) 子どもたち一人ひとりの個性、主体性、可能性および人権を尊び、子どもたちが心身ともに健やかで意欲ある生活を送れるよう支援します。					
支援方針	障がいをもっている子どもたち、またそうした心配のある子どもたちに対し、一人ひとりの発達段階を正しくとらえ、療育の方法を保護者の方々と共に考え、日常生活に必要な基本的能力を養い、園と家庭が連携して園児が心身ともに健やかで意欲のある生活を送れるように支援します。					
営業時間	9 時	0 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	必要に応じて、あり
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	・子どもの心身の健康状態の把握に努め、生活リズムを身につけられるように支援します。 ・食事・排泄・着脱・清潔等の基本的な生活動作が習得できるように支援方法を考え、習得に向けて支援します。 ・子どもの発達に必要なリハビリテーションを実施します。医療的ケア児には、医師の指示書に基づいて、個々に応じた適切な医療的ケアを行います。				
	運動・感覚	・個別のリハビリ時間には、子ども一人ひとりの発達状況に合わせた運動機能の向上を図ります。 ・集団活動・集団のリハビリの時間に、体を使う様々な遊具（巧技台・トンネル・はしご・トランポリン・ブランコ等）を用いながら、色々な姿勢や動きを経験したり、遊具に合わせてバランスをとる遊びを行います。 ・手先を使う遊びや道具操作を取り入れた活動も行います。				
	認知・行動	・さまざまな活動や感覚を経験する中で、色々な物の機能が名前、形、色、大小、数、空間、時間等の概念が理解できるように支援します。 ・写真・絵カード等の視覚支援を使ったスケジュール提示や手順書により、見通しを持って安心して過ごせるように支援します。				
	言語 コミュニケーション	・要求すること・伝えること・答えること等を、子ども一人ひとりの発達状況に合わせて表現できる方法を考え、支援します。（視線・表情・ジェスチャー・カード・ことば等）				
	人間関係 社会性	・お友だちや職員と一緒に日常生活を送る中で、かかわり方、伝え方、助けの求め方を伝えていきます。 ・順番、交替、役割等や簡単なルールを守ること、ルールのある遊びを経験できる機会を作ります。				
家族支援	・保護者同伴通園を実施し、一緒に生活をしながら、子どもの関わり方、支援方法を保護者と一緒に考え助言していきます。 ・ペアレントトレーニングや保護者研修会を実施し、また必要に応じて個別面談を行い、家族が安心して過せるようにサポートします。 ・日曜日等にも研修会を実施し、普段同伴していない家族にも参加できるように配慮しています。			移行支援		・地域の幼稚園・こども園・保育園の情報や支援の状況をお伝えし、就園について保護者と一緒に考えます。 ・就学についても、情報をお伝えすると共に、将来を見据えた子どもの最善の就学先を保護者と一緒に考えます。 ・就園・就学先が決まったときには、就園・就学先に、子どもの様子や支援方法等の情報提供をし、その後も必要に応じて連携して、支援を行います。
地域支援・地域連携	・地域での生活を見据えて、身の回りの自分でできることが増えていくように支援しています。 ・園児と地域の幼稚園やこども園等との交流会を実施しています。 ・ご希望があれば、地域の幼稚園・こども園・保育園・小学校・放課後育クラブ等での支援を行ったり、研修会を実施しています。（施設支援・保育所等訪問支援）			職員の質の向上		・療育後にクラスでの振り返りをしたり、多職種で意見交換をしています。 ・園内研修会の実施や、外部で行われている研修会に参加し、職員の資質向上に努めています。
主な行事等	療育参観日、水遊び、なつまつり、遠足、うんどうかい、お楽しみ会（クリスマス会）、おわかれかい(修了式) など					